

現場で役立つ相談援助のスキルアップマガジン

9

2021

September

ケアマネジャー

特集

注目の“アセスメント・ツール”で実現！
セルフ・ネグレクトの人の
問題の“見える化”と効果的な支援

注目1

援助技術を研く“省察的実践”
渡部律子氏

注目2

8050問題の支援の原則
山根俊恵氏

注目3

面接力を高める“知識”と“技術”
取出涼子氏

特別対談

ケアプラン標準
様式等の変更と
現場への影響

白木裕子氏
× 阿部充宏氏



お茶の水ケアサービス学院学院長
神智淳さんに聞く

新時代の 職員研修とは？

Interview

Vol.2 研修の効果を 最大限に高める

「あるべき姿」への行動変容

—研修をより効果的なものにする
ポイントをお聞かせください

私は研修の目的とは、職員自身がプロフェッショナルとしての「あるべき姿」を心に描き、その姿に向かって、行動変容を実現することだと考えています。この「あるべき姿」が事業所と職員で共有できていれば、研修は必ず意味のあるものとなります。そのためにはまず信頼のおける講師から専門的な知識や技術を学ぶことが不可欠です。

当学院の「フォローアップ研修・ネット配信サービス」では、医療介護分野で実績のある一流講師陣による700本以上の動画を配信しており、ネットで手軽に閲覧できます。多忙な介護現場の職員が、日々「あるべき姿」を学べる環境です。

また、時代の流れや現場のニーズに合わせて随時動画は追加しており、職員の階層、職種、講座内容などで条件検索も可能です。時間をかけずに職員一人ひとりに適したコンテンツと出会えます(図1)。

OJTで行動変容を実現させる

—そうして学んだ「あるべき姿」が現場で
活かされていないという悩みも聞かれます

ご存じのように、人材育成には職場から離れた
場所で知識や技術を学ぶOff-JT (Off the Job Train-

保健・医療・福祉領域の人材教育機関として、
20年以上の実績があるお茶の水
ケアサービス学院。業界でいち早く
eラーニング事業に取り組むなど、
先進的な研修システムが、
大きな注目を集めています。
本連載では、学院長・神智淳氏に、職員研修の
今後のあり方・展望などをお聞きします。
第2回は、効果的な研修を行うための
ポイントがテーマです。

ing) と職場で実践力を養うOJT (On the Job Training) の2つの形態があります。

Off-JTで学んだ内容は、それだけでは現場の役には立ちません。利用者の状況に応じ、個性をふまえた支援をできるようにする教育の場がOJTです。研修の効果を高めるためにはOff-JTでの学びをいかにしてOJTにつなぐかが、重要なのです。「フォローアップ研修・ネット配信サービス」でも、講義で学んだ内容を確実にOJTに結びつけるためのさまざまな工夫をこらしています。

—行動変容のために具体的にはどのような
工夫をしていますか？

たとえば「フォローアップ研修ネット・配信サービス」で準備されている「書式集」の中の「研修報告書」の活用です(図2)。

研修報告書というと、講義で学んだ内容や感想の記入で終わることが多いのですが、この書式ではさらに「受講して気づいた私の課題」「(半年後・1年後に) 私がなりたいたい姿」「そのために取り組むこ

図1 配信中研修検索画面



Jin Tomiatsu

お茶の水ケアサービス学院長、コ・メディカルアカデミー学院長、日本健康医学会監事。老年学修士。介護施設、国、自治体、公益法人等多数の育成プログラム構築に関わるほか、福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員の指導・育成に従事。各公益団体との共同研究や外部評価に関する講演や執筆活動、介護施設等のコンサルティングも行う。

と」の3項目を必ず記入する形式になっています。さらにその内容を「書式集」に用意されている「年間研修計画」「個別研修計画」に落とし込むことで、定期的な振り返りが行えます。このように行動変容を促すことで、Off-JTの学びをOJTの実施に結びつけることが可能となるのです。

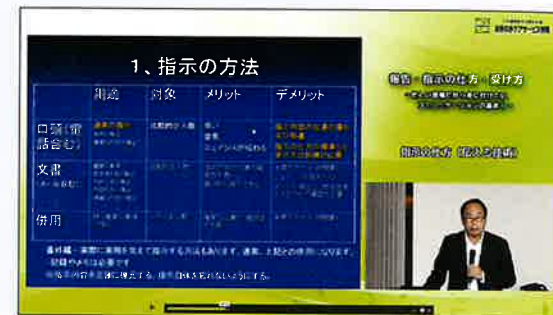
成功体験を繰り返す

—Off-JTとOJTを通じて職員のモチベーションを
維持するにはどうしたらよいですか？

ハードルを高くしすぎない、ということですね。小さな目標を設定し、成功体験を繰り返すことを意識することで、モチベーションを維持しながら高みに到達することができるのです。

その点、「フォローアップ研修・ネット配信サ

図2 研修報告書 年間研修計画 個別研修計画



フォローアップ研修・ネット配信サービス

サービス」ではコンテンツ内容を細分化し、「スモールステップ」で学べるシステムを採用していません。基礎から応用まで、自分に合ったコンテンツを視聴するうちに知識が身につきます。

今述べたようなポイントを意識すれば、研修の効果は確実に高まります。そして、仕事の質の向上はもちろん、職員のロイヤルティ(帰属意識)も高まり、離職も減少します。研修の効果は、事業所経営全体に波及するはずですよ。

日本健康医学会賛助会員
お茶の水ケアサービス学院



東京都指定調査機関
社団法人シルバーサービス振興会指定研修機関
公益財団法人東京都福祉保健財団指定研修機関
福祉用具専門相談員養成機関
東京都千代田区岩本町1-10-3
TEL : 03-3863-4000 FAX : 03-3863-4006
MAIL : info@o-careservice.com